

令和元年十月一日（火）から
十二月二十二日（日）まで

榮山寺創建千三百年

榮山寺はどろ語られてきたか

藤岡家住宅所蔵資料から見えるもの



「大和名所図会」
寛政3年（1791年）
藤岡家所蔵

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526
電話&FAX 0747 (22) 4013
info@uchinono-yakata.com
<http://www.uchinono-yakata.com>

国宝榮山寺八角堂
撮影 川村優理 2012/11/8

榮山寺創建 1300 年

榮山寺はどう語られてきたか

藤岡家所蔵資料から見えるもの



藤岡玉骨句碑
(山巡り巢を守る
雉子翔たせつつ)
2012 年川村撮影



「塔之堂（大日
堂）」(室町時代)
2012 年川村撮影

令和元年 10 月 1 日 (火) から 12 月 22 日 (日) まで

登録有形文化財「藤岡家住宅」

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526 TEL & FAX 0747 (22) 4013

info@uchinono-yakata.com <http://www.uchinono-yakata.com>

9 時～16 時 月曜休館・月曜が祝日のときは開館して翌日休館

高校生以上 300 円 小・中学生 200 円 20 名様以上 2 割引

五條市小島町の古刹榮山寺は、養老 3 年 (719 年) の創建以来、令和元年で 1300 年を迎えます。これを記念し、藤岡家の所蔵する榮山寺のさまざまな時代の資料を集めて展示します。榮山寺は五條の人々にとって、あまりにも身近で、優れた文化財であり、五條の一つのシンボルでもありました。そのためか、榮山寺に残る 1300 年間の歴史には、却って注目されることがなかったようです。当館では創建 1300 年を機会に、五條市元気なまちづくり交付金支援事業「榮山寺を巡る 3 つの音楽会」(8/16 日ゆかた・デ・ナイト 9/21 日松岡徳郎フルート&オカリナコンサート 11/10 ウクレレ HOOK コンサート) を開催し、ここで榮山寺関連の資料の展示や講演を行なっています。また、五條市広報 9 月号から「榮山寺と五條」というテーマで創建者の藤原武智麻呂や創建当時の五條のようすなどを紹介しています。ミュージックフェストなら 2019「岡田由美子&川村優理ジョイントコンサート」では、「榮山寺 1300 年を謡う」をテーマにそれぞれ榮藤岡家に残る榮山寺関連資料はそれほど多くはありませんが、昭和 32 年 4 月 29 日、藤岡玉骨の古希を祝って句碑「山めぐり巢を守(も)る雉子(きぎす)翔(た)たせつつ」が建立されています。『大和名所図会』『宇智郡史』『藤原武智麻呂伝(復刻版)』、『二千年袖鑑』などの資料に残る記述を辿れば、現代の榮山寺とはまったく違った風景が見えてきます。

榮山寺の国宝と重要文化財

八角堂(国宝)。奈良時代・天平宝字 4 年～8 年(760 年～764 年)藤原仲麻呂(恵美押勝)の建立。

鐘楼(国宝)。平安時代延喜 17 年(917 年)。小野道風の文字で、菅原道真の文言であると伝わる。

八角堂 内陣装飾(重要文化財)。

中国 敦煌莫高窟(ばっこうくつ)の石窟寺院の壁画や正倉院御物と共通する絵画。

天井には宝相華文様が施されている。

本尊 木造薬師如来坐像(重要文化財)。細かく材を寄せた複雑な寄木造。室町時代の作。

木造 12 神像(重要文化財)。室町時代の作。12 体のうち 6 体に、正徳 3 年(1454 年)と康正(こうしょう)元年(1455 年)の墨銘がある。

大きさは 2 尺(60 センチ)。12 支それぞれの方向を向いて、薬師如来を守護する。

石灯籠(重要文化財)。弘安 7 年(1284)の銘がある鎌倉時代のもの。243 センチメートル。」



榮山寺



大正 13 年刊
『宇智郡史』より榮山寺